



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月31日

上場会社名 中山福株式会社  
コード番号 7442 URL <https://www.nakayamafuku.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 謹也  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役グループ管理本部長  
兼グループ事業部長兼経営企画部長 (氏名) 中川 敬夫 TEL 06-6251-7518  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	30,981	5.3	132	—	391	—	441	572.2
2024年3月期第3四半期	29,408	△3.8	△217	—	33	△92.4	65	△88.4

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 189百万円 (63.9%) 2024年3月期第3四半期 115百万円 (△83.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	22.84	—
2024年3月期第3四半期	3.40	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	36,998	22,425	60.6	1,159.42
2024年3月期	32,889	22,425	68.2	1,160.12

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 22,425百万円 2024年3月期 22,425百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,780	0.5	520	—	840	—	540	—	27.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	20,214,480株	2024年3月期	20,214,480株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	872,216株	2024年3月期	884,500株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	19,337,352株	2024年3月期3Q	19,323,660株

(注) 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式 (2025年3月期3Q 144,300株、2024年3月期156,600株) が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(2025年3月期3Q 149,220株、2024年3月期3Q 163,000株)。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が徐々に改善し、インバウンド需要の増加等を背景として、緩やかな回復傾向がみられました。しかし、不安定な国際情勢の影響のもと、原材料やエネルギー価格の上昇、円安に伴う物価上昇等による消費者の節約志向が継続しており、依然として経済の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましても原材料や仕入原価の上昇に加えて、社会情勢の変化の影響を受けて物流費が上昇する等、当社グループを取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、第1四半期連結会計期間に「中山福グループ 新中期経営計画 NFG2026」を策定し、卸売事業、ものづくり事業など各種事業の強化、適正な利益を確保する最適な商品政策を推進してまいりました。EC事業の一体運営による合理化・効率化を図るために連結子会社の株式会社ENICYを2024年10月に吸収合併し、全国物流拠点の高度化・効率化を図るために着手した福岡支店の倉庫増築工事が2024年11月に完了いたしました。「家庭用品卸売事業」では市場の動向を分析し、生活の質・豊かさの向上とライフスタイルに合った新規商品の企画・販売を推進し、異業種との共同提案も含めて、それらの新しい売り場作りの提案を進めてまいりました。

これらの結果、営業面におきましては、サニタリー用品や調理用品等の販売が伸長し、また季節性商品や防災関連商品の販売が伸長したこと等により、「家庭用品卸売事業」の販売数が昨年実績を上回ったことで、当第3四半期連結累計期間の売上高は309億81百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

損益面におきましては、原材料価格の高騰や円安要因の影響によって仕入原価が上昇しましたが、グループ全社にて販売価格の見直し・交渉を進めてまいりました。また、売上高増加等に伴う運賃の増加による影響は、物流面における作業効率化等によって人件費を抑制し、その他の経費削減を全社挙げて推進したことで、営業利益1億32百万円（前年同期は営業損失2億17百万円）、経常利益3億91百万円（前年同期は経常利益33百万円）、投資有価証券売却益3億75百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億41百万円（前年同期比572.2%増）となりました。

商品分類別売上高につきましては、以下のとおりであります。

商品分類	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		前年同期比 増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
調理用品	9,700	33.0	10,390	33.4	7.1
台所用品	2,909	9.9	3,303	10.7	13.5
サニタリー用品	3,676	12.5	4,460	14.4	21.3
収納用品・インテリア関連用品	3,487	11.9	3,575	11.5	2.5
行楽・レジャー用品	6,246	21.2	6,466	20.9	3.5
エクステリア用品・園芸用品	1,517	5.2	1,069	3.5	△29.5
家電用品・冷暖房用品	1,358	4.6	1,172	3.8	△13.7
ヘルスケア・シニア・ベビー用品等	510	1.7	542	1.8	6.3
合計	29,408	100.0	30,981	100.0	5.3

「調理用品」は、フライパン、包丁、鍋等を中心に103億90百万円（前年同期比7.1%増）となりました。「台所用品」は、台所消耗品、保存容器等を中心に33億3百万円（前年同期比13.5%増）となりました。「サニタリー用品」は、リビング清掃用品、浴室用品等を中心に44億60百万円（前年同期比21.3%増）となりました。「収納用品・インテリア関連用品」は、キッチン収納用品、衣装ケース・プラチェスト等を中心に35億75百万円（前年同期比2.5%増）となりました。「行楽・レジャー用品」は、ボトル・タンブラー、レジャー用品、ランチボックス等を中心に64億66百万円（前年同期比3.5%増）となりました。「エクステリア用品・園芸用品」は、DIY用品・内装資材用品、園芸用品等を中心に10億69百万円（前年同期比29.5%減）となりました。「家電用品・冷暖房用品」は、調理家電を中心に11億72百万円（前年同期比13.7%減）となりました。「ヘルスケア・シニア・ベビー用品等」は、ヘルスケア用品、衛生用品等を中心に5億42百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間から、報告セグメントごとの業績をより適切に反映させるため全社費用の配分方法の見直しを行っており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数字で比較分析しております。詳細は、「2四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。

① 家庭用品卸売事業

当事業では、家電用品・冷暖房用品等の販売は前年同期を下回ったものの、調理用品、サニタリー用品等の販売は前年同期を上回りました。

その結果、売上高は「北海道」10億77百万円（前年同期比1.9%増）、「東北・関東」127億51百万円（前年同期比3.8%増）、「中部」26億51百万円（前年同期比13.6%増）、「近畿・中四国」75億5百万円（前年同期比13.1%増）、「九州・沖縄」43億20百万円（前年同期比7.4%増）となり、家庭用品卸売事業の売上高は283億6百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

セグメント利益又は損失は「北海道」△21百万円(前年同期はセグメント損失16百万円)、「東北・関東」3億58百万円(前年同期比100.7%増)、「中部」35百万円(前年同期はセグメント損失1百万円)、「近畿・中四国」2億77百万円(前年同期比301.4%増)、「九州・沖縄」86百万円(前年同期比559.0%増)となり、家庭用品卸売事業のセグメント利益は7億36百万円(前年同期比203.2%増)となりました。

② プラスチック日用品製造事業

当事業では、収納用品の販売は前年同期を上回ったものの、園芸用品の販売は前年同期を下回りました。

その結果、売上高は15億37百万円(前年同期比16.2%減)、セグメント利益は61百万円(前年同期比79.4%減)となりました。

③ インテリア用品製造・販売事業

当事業では、インテリア関連用品の販売は前年同期を上回りました。

その結果、売上高は10億47百万円(前年同期比3.1%増)、セグメント利益は3億6百万円(前年同期比15.3%増)となりました。

④ その他

その他事業の販売は前年同期を下回りました。

その結果、売上高は3億90百万円(前年同期比20.0%減)、セグメント損失は2百万円(前年同期はセグメント利益1百万円)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は247億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億27百万円増加いたしました。これは主に原材料が10百万円減少したこと、現金及び預金が15億82百万円、受取手形及び売掛金が11億34百万円、電子記録債権が3億12百万円、商品及び製品が11億82百万円、未収入金(流動資産のその他)が1億4百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は122億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億18百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が3億98百万円増加したこと、無形固定資産が46百万円、投資その他の資産が5億70百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は369億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億9百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は129億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ44億93百万円増加いたしました。これは主に未払金(流動負債のその他)が73百万円、未払消費税等(流動負債のその他)が88百万円それぞれ減少したこと、支払手形及び買掛金が20億78百万円、短期借入金が25億円、未払法人税等が32百万円、預り金(流動負債のその他)29百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は16億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億84百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が2億75百万円、繰延税金負債(固定負債のその他)が1億10百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は145億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億8百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は224億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益4億41百万円の計上、剰余金の配当1億94百万円と、その他有価証券評価差額金の減少2億10百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は60.6%(前連結会計年度末は68.2%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月10日の「2024年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,438,782	8,021,635
受取手形及び売掛金	7,500,808	8,635,513
電子記録債権	1,570,783	1,883,689
商品及び製品	4,603,883	5,786,764
仕掛品	20,685	15,562
原材料	190,329	180,013
その他	142,013	271,652
流動資産合計	20,467,286	24,794,831
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,662,091	4,352,333
土地	2,516,342	2,516,342
その他(純額)	586,478	294,830
有形固定資産合計	6,764,912	7,163,506
無形固定資産		
のれん	103,320	61,053
その他	47,651	43,507
無形固定資産合計	150,971	104,560
投資その他の資産		
投資有価証券	4,373,878	3,819,230
その他	1,136,111	1,120,448
貸倒引当金	△4,100	△4,100
投資その他の資産合計	5,505,889	4,935,579
固定資産合計	12,421,774	12,203,645
資産合計	32,889,060	36,998,477

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,287,838	6,366,124
短期借入金	2,000,000	4,500,000
1年内返済予定の長期借入金	404,910	371,469
未払法人税等	178,142	210,974
賞与引当金	228,904	118,290
その他	1,356,862	1,382,806
流動負債合計	8,456,656	12,949,665
固定負債		
長期借入金	939,698	664,648
役員株式給付引当金	56,889	59,626
退職給付に係る負債	154,742	144,732
その他	855,902	753,973
固定負債合計	2,007,232	1,622,980
負債合計	10,463,889	14,572,645
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,706,000	1,706,000
資本剰余金	1,269,000	1,269,000
利益剰余金	17,320,624	17,567,428
自己株式	△434,719	△428,297
株主資本合計	19,860,904	20,114,131
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,098,159	1,887,361
退職給付に係る調整累計額	466,107	424,339
その他の包括利益累計額合計	2,564,266	2,311,701
純資産合計	22,425,171	22,425,832
負債純資産合計	32,889,060	36,998,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	29,408,103	30,981,001
売上原価	23,873,144	25,128,145
売上総利益	5,534,959	5,852,855
販売費及び一般管理費	5,752,107	5,720,784
営業利益又は営業損失(△)	△217,148	132,070
営業外収益		
受取利息	19	203
受取配当金	65,352	60,587
仕入割引	142,573	149,086
賃貸収入	29,551	28,366
その他	44,533	48,042
営業外収益合計	282,030	286,285
営業外費用		
支払利息	14,660	18,840
賃貸費用	4,676	5,018
和解金	10,000	—
その他	2,411	2,570
営業外費用合計	31,747	26,428
経常利益	33,134	391,928
特別利益		
投資有価証券売却益	252,408	375,269
特別利益合計	252,408	375,269
特別損失		
減損損失	1,064	—
特別損失合計	1,064	—
税金等調整前四半期純利益	284,479	767,197
法人税等	218,771	325,527
四半期純利益	65,707	441,670
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	65,707	441,670

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	65,707	441,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63,779	△210,797
繰延ヘッジ損益	△159	—
退職給付に係る調整額	△13,981	△41,767
その他の包括利益合計	49,638	△252,565
四半期包括利益	115,346	189,105
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	115,346	189,105
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					
	家庭用品卸売事業					
	北海道	東北・関東	中部	近畿・中四国	九州・沖縄	計
売上高						
外部顧客への売上高	1,057,330	12,267,942	2,333,315	6,635,188	4,022,544	26,316,322
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	13,308	—	—	—	13,308
計	1,057,330	12,281,251	2,333,315	6,635,188	4,022,544	26,329,630
セグメント利益又は損失(△)	△16,342	178,755	△1,727	69,074	13,065	242,825

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プラスチック 日用品製造事業	インテリア用品 製造・販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,591,155	1,012,181	28,919,658	488,445	29,408,103	—	29,408,103
セグメント間の内部売上高又は振替高	243,559	3,567	260,435	—	260,435	△260,435	—
計	1,834,714	1,015,748	29,180,093	488,445	29,668,538	△260,435	29,408,103
セグメント利益又は損失(△)	298,074	266,194	807,094	1,697	808,791	△1,025,940	△217,148

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インターネット通信販売事業、輸出等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,025,940千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,014,987千円及びセグメント間取引消去等△10,952千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	家庭用品卸売事業					
	北海道	東北・関東	中部	近畿・中四国	九州・沖縄	計
売上高						
外部顧客への売上高	1,077,826	12,744,436	2,651,550	7,505,361	4,320,009	28,299,184
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	6,832	—	—	—	6,832
計	1,077,826	12,751,269	2,651,550	7,505,361	4,320,009	28,306,016
セグメント利益又は損失(△)	△21,585	358,754	35,602	277,256	86,098	736,125

	報告セグメント			その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	プラスチック日用品製造事業	インテリア用品製造・販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,290,816	1,043,553	30,633,554	347,446	30,981,001	—	30,981,001
セグメント間の内部売上高又は振替高	246,987	3,927	257,747	43,200	300,947	△300,947	—
計	1,537,804	1,047,480	30,891,301	390,646	31,281,948	△300,947	30,981,001
セグメント利益又は損失(△)	61,549	306,983	1,104,659	△2,866	1,101,792	△969,721	132,070

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インターネット通信販売事業(2024年10月に吸収合併した株式会社ENICYを従来同様含む)、輸出等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△969,721千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△933,610千円及びセグメント間取引消去等△36,111千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、報告セグメントごとの業績をより適切に反映させるため全社費用の配分方法の見直しを行っております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の配分方法に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	269,330千円	277,557千円
のれんの償却額	56,438	42,267